

【部会名】 柏市障害者差別解消支援地域協議会 柏市権利擁護ネットワーク会議における 障害者に関する専門部会	【担当】 障害福祉課 平井・石月・三原
【開催報告】 1 柏市障害者虐待防止サポートチーム派遣事業 (1) 一般社団法人ウェルシェア各事業所 ア 日時：1月29日(木)午前10時00分～午前11時30分 イ 講師：リトルペガサス センター長 齋藤 菜実子 氏 ウ 内容：障害者虐待防止について（講義），事例を用いたグループワーク (2) 一般社団法人すばる ア 日時：2月27日(金)午後6時00分～午後8時00分 イ 講師：社会福祉法人フラット 理事 飯ヶ谷 徹平 氏 ウ 内容：障害者虐待防止について（講義），個人ワーク，グループワーク (3) tocotocohome 柏 ア 日時：4月22日(金)午前10時00分～午前12時00分 イ 講師：千葉県虐待防止アドバイザー 市岡 武 氏 ウ 内容：障害者虐待防止について（講義） 2 令和7年度第2回東葛市町村虐待防止担当者連絡会 (1) 日時：令和8年2月13日(金)午後2時00分～午後4時00分 (2) 参加自治体：柏市，松戸市，我孫子市，流山市，野田市 3 令和7年度第3回柏市障害者権利擁護研修会 (1) 日時：令和8年2月17日(火)午後2時00分～午後4時00分 (2) 講師：静岡文化芸術大学 名誉教授 工学博士 古瀬 敏 氏 (3) 内容：ユニバーサルデザインについて (4) 方式：Web開催 4 柏市権利擁護ネットワーク会議における障害者に関する専門部会 (1) 臨時コア会議 日時：令和8年3月18日(水)午前10時00分～午前12時00分 (2) コア会議 日時：令和8年4月29日(金)午後2時00分～午後4時00分	
【今後の活動予定】 1 令和8年度柏市障害者権利擁護特別研修会 (1) 日時：令和8年6月19日(火)午後2時00分～午後4時00分 (2) 講師：日本社会事業大学 社会事業研究所 客員教授 曾根 直樹 氏 (3) 内容：障害者の虐待防止について(管理者向け) (4) 方式：Web開催	

- 2 令和8年度第1回柏市権利擁護ネットワーク会議における障害者に関する専門部会
 - (1) 日時：令和8年6月24日(水)午後2時00分～午後4時00分
 - (2) 方式：ハイブリット開催
- 3 柏市障害者虐待防止サポートチーム派遣事業
 - (1) 対象：市内児童通所施設5か所合同
 - (2) 日時：9月頃
 - (3) 講師：リトルペガサス センター長 齋藤 菜実子 氏
 - (4) 内容：障害者虐待防止について（講義），ディスカッション

【部会名】 柏市障害児等医療的ケア支援連絡会	【担当】 社会福祉法人ワーナーホーム たんぽぽセンター 渡部
【開催報告】 1. 全体会 (1) 第2回：令和8年2月12日（木）対面、WEB 併用による開催 ア 報告事項 ○保育運営課、児童生徒課 ・公立保育園、小中学校での医ケア児の受け入れ状況の報告。 ○こども発達センター ・統合一体化について。 ○地域医療推進課 ・BCP 進捗状況。 ○松戸特別支援学校。 ・通学支援モデル事業について。 イ 令和7年度の取り組み ○ワーキング ・成人…柏市相談支援連絡会にて医療的ケア児の基礎知識講義を実施。 利用可能な資源の不足：近隣市町村の児者も柏市の事業所を利用している 定員数については充足していると捉えているが、既存の事業所において医 療的ケア者をうけ入れていく体制整備が必要。 ・児童…サービス提供事業所向けの研修など課題の抽出。 ワーキングメンバーの選定：事例検討は個人情報保護の観点から困難さがある。 ○防災対策 ・令和7年11月14日防災研修（柏市肢体不自由児者を育てる会主催） 事前アンケートの結果をもとに協議を実施。 ○東葛圏域の連携体制 ・令和7年11月18日 合同連携会議を開催。 ○ホームページ及び相談先のリーフレットについて ウ 令和8年度の取り組み ○ワーキングの在り方について ・成人：サービス提供事業所の受け入れについて、くらし部会と協議。 ・児童：医療安全について注力していく。	

【今後の活動予定】

- 1 暮らし部会との共催で医ケアがある成人の社会資源について意見交換の場を設けていきたい。
- 2 地域生活支援拠点ぶるーむの風 南部地区研修の位置づけで、『『医療的ケア』について知ろう』の年間テーマでの相談員、サービス提供事業所向けの研修会を開催予定。

【部会名】 柏市精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業	【担当】 【事務局】 たんぽぽセンター
【開催報告】 1 コア会議 (1) 第1回：4月22日(水) 対面による開催 参加者10名 ① 令和8年度の活動計画について共有、検討 ア 代表者会議の開催と構成員について(報告) ・令和9年1月14日(木)14:00～16:00開催予定 ・学識経験者に、国際医療福祉大学成田看護学部森内先生を代表者委員に選出予定 イ 実務者会議及び実務者会議内開催の研修について(検討) ・開催頻度は年6回(奇数月の第4水曜日) ・研修会として、若年層支援(7月)、精神科病院との意見交換会(9月)、専門的スキルの習得を目的とした研修を企画予定。 ウ その他の研修および合同開催について(報告) ・「ここサポ研修」への協力 ・「医療観察法研修会」を基幹相談支援センターと協働で開催 エ ワーキンググループの活動方針について(意見交換) ② 地域移行、地域定着について意見交換を実施 (意見)※一部抜粋 ・長期入院者の地域移行を促進するため、精神科病院での聞き取り調査を行えないか。患者にニーズ把握、患者が必要としている地域資源を把握したい。 ・アパートの一室を利用した体験宿泊のような、地域での生活をイメージできる場の創出はできないか。 ・「本当は自宅に帰りたい」という願いを持っていてもグループホームへの入居を優先されるなど、本人の意思が乖離していることがあるのではないか。 ③ 自立支援協議会委員の選任について 令和8年度は、初石病院塩原氏を新たに選出 ④ ピアサポーター交流会について ・ピアサポーターと精神科病院の交流活動の再開に向けて、今年度末から来年度にかけて具体化を図る 2 実務者会議 (1) 第1回：5月27日(水) 対面による開催 参加者：25名 ア R8年度の柏市「にも包括事業」の取り組みについて ・柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について(説明) ・事業実施計画について(説明)	

イ グループワーク

テーマ：良いところ報告会

～自事業所の強みや、実践活動から感じる柏市のストレングスについて考える～
(意見) ※一部抜粋

- ・入院施設がある精神科病院が複数ある。駅前に精神科クリニックがたくさんある。
- ・病院の地域移行の仕組みが整っている、地域に開かれている。
- ・各事業所の取り組みが地域に浸透している。
- ・全国的にみても相談支援が整備されている（基幹2つ、拠点4つ）
- ・他機関との関係性がよく、連携しやすい。
- ・学校、GH、訪問看護など地域資源が多い→利用者にとって選択肢が多い

【その他】

1 東葛圏域ピア交流会について

日時：7月19日 13:30～

場所：たんぽぽホール

テーマ：当事者研究の考え方について

講師：浦河べてるの家/株式会社 MARS 専務取締役 向谷地 宣明氏

【今後の活動予定】

1 コア会議

(1) 第2回：10月28日（水）対面による開催

2 実務者会議

(1) 第2回：7月22日（水）対面による開催

3 ワーキングチーム

(1) 第2回：6月24日（水）対面による開催

【部会名】 柏市地域生活支援拠点運営協議会	【担当】 障害福祉課 石月・三原
【開催報告】 1 柏市地域生活支援拠点運営協議会 (1) 第1回：5月22日（金）対面による開催 ア 令和7年度柏市相談支援機能強化事業等評価結果報告について ・地域生活支援拠点の5つの機能項目についての評価結果報告を行った。 概ね標準点以上の結果ではあるが、体験利用の在り方については、今後、継続して検討する必要があることを確認。また、評価の仕方についても改めて指標を精査し評価基準を一定化する等の改善に向けた取り組みを今後は検討することとなる。また、ケース対応において他分野との連携を行えていることやそれぞれの拠点の強みを活かした支援を行えているとの評価を得た。 イ 令和7年度各拠点の活動報告及び令和8年度各拠点の活動計画について ・委託職員のメンタルケアについて各拠点の対応方法を共有。体験の場提供の推進については、改めて地域のニーズの洗い出しや社会資源の確保等の検討を要する。 ウ 4拠点会議の報告について ・令和7年度の取り組みについての報告。 計画相談員と委託相談員の連携について、今後協働型モデルの活用が計画相談員の負担軽減、相談員同士の連携促進に繋がるため、4拠点会議内で更に連携を意識し取り組んでいただきたいとの意見が出た。 エ その他 事務局より5月11日に拠点コーディネーターの活動推進について協議を行い、今後、市内入所施設やリスクのあるケースの調査を行う予定であることを共有。	
【今後の活動予定】 1 柏市地域生活支援拠点運営協議会 令和8年度は、年2回の開催予定 次回開催日時は、令和9年2月25日を予定	